



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	巻頭言
Author(s)	西村, 淳
Citation	年報 公共政策学, 10, 1-1
Issue Date	2016-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/62417
Type	other
File Information	APPS10_01.pdf



巻 頭 言

2005年に北海道大学公共政策大学院（HOPS）が創設されてから満10年が経過しました。これまで、「文理融合」「理論と実践の架橋」を重視しつつ、「構想力と実現力との融合」を実践し、「グローバル」という観点から、グローバル化の中での北海道という土地の特性を理解し地域の実情に適合した公共政策の提案を目指してきました。また、公共部門のみならず政策の担い手が飛躍的に増大する時代のニーズに応え、柔軟な発想と広い視野を持って新たな政策課題に対応できる公共政策の担い手を養成するとともに、実践の根底を支える公共政策研究を蓄積し発信してきました。北海道大学公共政策大学院のこの10年は基盤確立の時期であり、今後様々な問題に対し新たな存在意義を創造していく時期に入っていかなければなりません。

公共政策大学院は公共政策学に基礎をおいています。公共政策学は1990年代から全国の「政策」という名前を冠した講座で講じられはじめ、公共政策学会も1996年に設立されました。現在公共政策大学院は全国で8つあるほか、その他の公共政策系学部でも公共政策学が講じられています。公共政策学は、単に公共政策を研究する学際的な学問分野というだけでなく、一定の思想に支えられた規範性と、比較可能性を担保する実証的データによる客観的分析に基づく政策科学であり、特定の分野や場に限定されない政策知の組織化・体系化でなければならないとされ、かなり確立したものと認められるようになってきました。一方で、学問として体系化されているのか、諸学の寄せ集めではないのかといったことがいまでも議論されており、公共政策学の明確なディシプリンの確立には、なお努力が必要であるとされています。これは北海道大学公共政策大学院の課題でもあります。

本誌『年報公共政策学』は、「公共政策学」を冠した唯一の学術論文誌として、本号で第10号を迎えます。本号では、北海道大学公共政策大学院の設立満10周年記念としておこなわれたシンポジウムにおける佐々木隆生元院長の講演記録をはじめとし、地方財政、行政、外交、医療・福祉などの幅広い分野の論文を掲載しました。また、グローバル化に対応し英語の論文2本も掲載しているほか、院生の学習成果であるリサーチペーパーも3本掲載し、10周年記念号にふさわしい陣容にすることができたと思います。

多くの方々のご協力で本年報を刊行できたことに厚くお礼申しあげるとともに、今後とも引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

西村 淳

北海道大学公共政策学研究センター長・教授

平成28年3月